



嶺北の小学生の新入生数 (平成25年3月15日現在)

25年度新入生(見込)	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
大豊小学校	2名	3名	1名	1名	2名
大杉小学校	13名	10名	10名	11名	10名
大田口小学校	1名	2名	2名	0名	3名
本山村	26名	15名	14名	18名	18名
吉野小学校	2名	6名	5名	3名	2名
土佐町	21名	29名	24名	26名	24名
大川村	1名	1名	2名	2名	4名

嶺北の中学生児童数

年度	大豊町	本山村	土佐町	大川村
平成25年度新入生数(見込)	14名	25名	24名	6名
24年度全校児童数	64名	62名	93名	13名

嶺北地域 小中学生新入生数調査

現在嶺北には小学校が7校、中学校が4校あり、これらを対象に5年間の新入生数を調

査したところ、以外なことに数字が細かく変動しているもののほぼ一定を保っていることがわかった。しかし第2次ベビーブーム期に生まれた子どもが小学校や中学校に入学する昭和55年から57年と比べると2倍以上減少していた。現在全国的に少子化が深刻になっており、この地域でもこの問題をどう食い止めるかが今後の大きな課題といえる。

季刊誌ばうむ

baum-llc

春号の紙面

本山町『田伝夢史』始動
れいほく地域人ネット山本 福太郎さん
大杉小環境教育実施
嶺北名店紹介&おすすめピュースポット



moku-lace



moku-lace photo frame フォトフレーム

L判サイズ(レース柄・動物柄) ¥1,680-(税込)

2L判サイズ(レース柄・動物柄) ¥2,940-(税込)

メッセージ刻印 ※¥500~

※デザイン、刻印スペースにより価格は異なります。



レース柄



動物柄

2月26日、本山村吉延にて濁酒製造所『田伝夢史』の試飲会が開催された。地域内外各団体の方々など約50名が参加し、地区の女性による自慢の手料理が振る舞われ、まさに「土佐の大おきやく」のようであった。この製造所を設立する田岡信男さんは同地区で米農家を営んでおり、本山村では汗見川地区の「山の雫」に続き濁酒製造所第2号と



製造者 田岡信男さん

田伝夢史

濁酒製造所

発行所 地域の総合商社 ばうむ合同会社
TEL 0887・76・3355
FAX 0887・76・3365
〒781-3609 高知県長岡郡 本山町助藤1372 (吉野川リビング協同組合内)
http://www.baum-llc.com

なる。作る濁酒は甘口の「布姫の舞」と辛口の「布姫の雫」の2種があり、この名前は吉延の「布滝伝説」由来し、当初は自身が育てる米に使う予定だったが、伝説が水に関係することと、濁酒は女性をターゲットにすることから今回の濁酒に使用した。参加者からは「後味がスツクリし、甘みがある」や「口当たりがなめらか」といった意見が多かったことから女性でも飲みやすい濁酒に仕上がったようだ。現在濁酒はネット注文や電話注文で購入でき、地域活性化の起爆剤として今後期待される。

濁酒製造所『田伝夢史』
TEL 090-8699-9541
twitter ozin627
facebook 田伝夢史
よしのぶ農園 HP http://www.sikokunoheso.com

事業方針

地域の中にあるまた十分活用されていない資源を活用することで、地域の中に雇用と所得を生み出し、持続可能な地域再生の実現を目指します。

また、地域に残る豊かな自然環境を活用し、地域内外の人たちに安らぎを提供します。

行動の原点

変化に期待するのではなく、己の力で未来を拓く。

「ば」 万物に感謝し、自然と人との調和によって恵みが生まれる

「う」 美しい山間の町からみんなの笑顔がこぼれるように

「む」 無限の可能性に挑戦する



(記事編集 ばうむ合同会社 澤田)

山本 福太郎さん

「れいほく地域人ネット ネットワーク」



この団体の結成メンバーでもあり、現在会長を務める山本福太郎さんは平成15年大阪の団体職員を定年退職後、「田舎体験」活動も行う生まれ育った土佐町へUターンする。年間50名以上が体験を行い、なかには



ふらっと嶺北 いなか暮らし

「任んでみんかよ嶺北に！」を合い言葉に、嶺北の空き家情報や、農耕地の情報、また都市部からの移住希望者対応を含め、移住を支援

「任んでみんかよ嶺北に！」を合い言葉に、嶺北の空き家情報や、農耕地の情報、また都市部からの移住希望者対応を含め、移住を支援

「任んでみんかよ嶺北に！」を合い言葉に、嶺北の空き家情報や、農耕地の情報、また都市部からの移住希望者対応を含め、移住を支援

「任んでみんかよ嶺北に！」を合い言葉に、嶺北の空き家情報や、農耕地の情報、また都市部からの移住希望者対応を含め、移住を支援



大豊町内の一角、深くにしまわれていたひととき昭和レトロを醸し出す「お宝屋敷・おおとよ」。この昔懐かしい風情ある建物には、昭和30年代を中心とした日用品や生活雑貨など今では見かけることがなくなつた昔の「お宝」を展示している。ここを運営するのは写真スタジオのご主人中西三男さん。7年前スタジオに隣接する空き家の再利用を考え、当館をオープンさせた。館内のお宝は全て町内外の方から寄贈されたもので、しばらく押し

年々イベント参加者は増え続けテレビやラジオなどの取材もあり、古き良き昭和の雰囲気漂う穴内の商店街は今年も多くの人で賑わいをみせてくれそうだ。

田舎いんぶ お宝屋敷・おおとよ

大豊町 福寿草まつり



雪の間から小さく可憐に花を咲かせ、春の到来を告げる花で、「幸せを招く」という花言葉の福寿草。大豊町南大王は福寿草の群生地として県内外に知られており、大豊町の町花にも指定されている。2月10日から3月10日同町

ばうむ「大杉小環境教育」

1月17日大豊町立大杉小学校にて環境教育を実施した。今回の対象は小学4年生で「地域に学ぶ 木材の利用」をテーマに、間伐後から商品へとなる一連の流れを学ぶ座学と、木材に色を塗り、ポンドで固定させておもちゃを作る「環境ワゴン」を行った。座学では黙々とメモをとる姿が非常に印象的で、環境ワゴンにうつると、休み時間も



忘れ、自由な発想で作品づくりに打ち込んだ。今回の環境教育では、子ども達の地域の森に対する知識や関心の高さ、難しい内容ながら真剣に取り組む姿勢に驚きと共に喜びを感じることができた。

セカンドハウスとして利用する方も多く、いつしか山本さんの自宅は「田舎暮らしを体験できる拠点」となっている。他にも団体メンバーや行政と共にイベント企画にも携わっており、毎月第3日曜日に開催される「お山の手づくり市」を3月17日本山町さくら市下にてスタートさせた。

山本さんは「移住者と地域の人とが共に協力し合っって嶺北を気づけることが必要。」と笑顔を見せながら今後の目標について「今までどおりの活動を継続し、地域の人口減少を少しでも食い止めていきたい。」と今後も活動を続けていく強い決意を示してくれた。



①大川村 瀬戸川 ②土佐町 早明浦ダム ③本山町 雁山展望台 ④本山町 吉延の棚田 ⑤大豊町 川戸からの吉野川

嶺北 おすすめ ビュースポット & 名店情報 (ほんの一部)

旅館 筒井 平日のみ営業 7:00~19:00

大川村 三滝山 265

とぎの山

本山町 雁山 439

大豊町 梶ヶ森

大川村役場

本山町役場

大豊町役場

music cafe かのん 定休日 水曜日 8:00~16:00 (土日モーニング有 ワンコイン 500円)

Missy Sippy cafe 定休日 火曜日 ランチ 3~4台

大田口カフェ 10:00~17:00 ランチ 11:30~14:30 定休日 水曜・第2・4水曜日

ぼっちり堂 定休日 水・木曜日 10:00~17:00

農家民宿&喫茶 レーベン 土・日・祝日のみ営業

これらのビュースポット以外にも嶺北には美しい風景がたくさんあります。この機会にぜひ自分だけのビュースポットを見つけてみてはいかがでしょうか？